

第3次庄内町観光振

興計画を策定しました！

観光によるまちづくりを推進！

第3次庄内町観光振興計画（平成30年度～平成34年度）を策定しました。
観光は、交流人口の拡大をもたらすとともに、大きな経済効果を生み出す産業として、かつ、地域活性化の切り札として期待されています。そのため、観光交流人口100万人を目指し、住民、事業者、行政、関係団体などが力を合わせ、本町の観光資源のさらなる魅力向上や受入態勢を整え、地域経済の振興を図り、持続可能な観光によるまちづくりを推進していきましょう。

策定の視点

1 おもてなしの心を持って来訪者を迎えることができるよう、住民や観光関連事業者等の意識啓発や人材育成を図ります。

おもてなしの観光地づくり



2 本町の観光資源を活用した「庄内町らしさ」を見て、聞いて、触れて、味わって体験できる仕掛けを随所に設けることで、庄内町を五感で満喫できる観光環境づくりを目指します。

五感で楽しむ町旅づくり



3 観光産業と異業種との連携、広域連携での周遊観光により滞在時間を延ばし、庄内町ならではの土産物や逸品等の開発、「庄内町の食」の提供等、地域内消費につなげ稼げる観光を目指します。

稼げる観光産業づくり



4 庄内町の魅力を多くの人々に伝え、来訪していたくために、幅広い観光PR活動を展開し、誰にとってもわかりやすく、魅力あふれる情報発信を目指します。

わかりやすく魅力あふれる情報発信づくり



▲アナログ掲示板

戦略

1 おもてなし意識(心)づくり

- ◎「あいさつ運動」で来訪者を迎えよう
- ▷「よぐきたの～、こんにちは」はおもてなしの第1歩
- ◎1人3つは庄内町の自慢を言えるようにしましょう
- ▷観光講座、ふるさと学習の開催
- ◎誰もが観光案内人
- ◎観光ガイド、インストラクターの養成、活用



2 多様な観光の魅力づくり

- ◎魅力的な観光資源との“めぐりあい”
- ▷歴史、伝統文化、自然資源や食文化の活用
- ▷スポーツ、健康、インフラ
- ▷ツーリズム（六湖・瀬場砂防堰堤登録有形文化財等）の開発
- ◎“ホンモノ”を伝える地域の人々との交流
- ▷教育旅行、農村体験などグリーン・ツーリズムの推進



3 稼げる観光産業づくり

- ◎商工会と連携強化
- ▷一店逸品の紹介、アナログ掲示板情報等
- ◎こだわりの特産品開発
- ◎宿泊施設の拡充で観光収入アップ
- ◎広域連携で観光の魅力の相乗効果



4 訪れたいくなる環境づくり

- ◎わかりやすく旬で効果的な情報発信
- ▷訴求力のあるSNSの活用
- ◎庄内町の知名度アップ、世界に発信！
- ▷インバウンドの誘客促進
- ◎人と環境にやさしい観光基盤整備
- ◎観光拠点の整備・充実及び観光協会組織体制の強化



目標像



笑顔あふれ
うるおい満ちる
めぐりあいの旅

自らの町を自慢・誇りに思い、笑顔あふれる住民が来訪者をもてなす町は、多くの人を惹きつけ、交流をとおして、町を訪れた人は「笑顔」になって帰ることができます。庄内町の多彩な観光資源や優しく温かな人たちとめぐりあい、体験・交流をとおして満足感を得ることで庄内町ファンが生まれていきます。「庄内町旅」には、人と経済の好循環を創り出していく可能性があふれています。

<観光交流人口目標>

来訪内容	H28年度実績	H37年度
名所・旧跡・資料館等 (響ホール・内藤秀因記念館ほか)	78,000人	83,000人
温泉・レジャー施設・産直 (町湯・北月山荘・クラッセ・道の駅しょうないほか)	695,000人	800,000人
体験滞在型観光 (小さな旅・駅からハイキングほか)	700人	2,000人
祭り・イベント	76,300人	85,000人
宿泊者数	7,000人	30,000人
合計	857,000人	1,000,000人

みんなでアクション！

- ・来訪者を見かけたら、笑顔で「こんにちは」の声掛けをしよう。
- ・みんなで“わが町自慢”の魅力を再発見しよう。
- ・おすすめしたい庄内町の魅力をSNSなどで発信していこう。
- ・観光に関するセミナーや研修会などに参加しよう。